

自然環境システム学講座の学習・教育目標

自然環境システム学講座の学習・教育目標は以下の通りである。下記の(1)~(4)の能力を持った学生を育てることを、講座の教育目標とする。

(1) 「関心・意欲など」に関する目標

1-1 人間と社会，自然や環境，生命倫理について強い関心を持つ。

1-2 人文・社会系科目，理系基礎科目，専門科目を主体的に学習しようとする意欲，その成果を社会に還元しようという意志を持つ。

1-3 「前に踏み出す力（主体性，働きかけ力，実行力）（*注）」を持つ。

1-4 自ら考え，かつ，「チームで働く力（発信力，傾聴力，柔軟性，情報把握力，規律性，ストレスコントロール力）（*注）」を持つ。

(2) 「思考・判断」に関する目標

2-1 人文・社会系に関する多面的で十分な知識を持ち，種々の問題に対して自ら価値判断する能力を持つ。

2-2 「考え抜く力（課題発見力，計画力，創造力）（*注）」を持つ。

(3) 「技能・表現（特にコミュニケーション力）」に関する目標

3-1 自分の考えを論理的に表現でき，発表できる十分なコミュニケーション能力を持つ。

3-2 国際社会で活躍するために，十分な英語によるコミュニケーション能力を持つ。

(4) 「知識」に関する目標

4-1 数学，物理学，化学，生物学などの理系基礎科目と英語について，理系学部の卒業生としてふさわしい基礎知識を身につけている。

4-2 (A) 気象・気候・海洋学，(B) 生態学・景観学・森林科学，(C) 自然災害科学，(D) 地球システム進化学・環境科学一般 のいずれか（2つ以上が望ましい）に関わる深い専門知識を持つ。

(*注) 経済産業省編「社会人基礎力育成の手引き」によると，「社会人基礎力」は，以下の3つの力，12の要素に分類されている。

○3つの力：前に踏み出す力（アクション），考え抜く力（シンキング），チームで働く力（チームワーク）

○12の要素：

アクション：主体性，働きかけ力，実行力

シンキング：課題発見力，計画力，創造力

チームワーク：発信力，傾聴力，柔軟性，情報把握力，規律性，ストレスコントロール力